

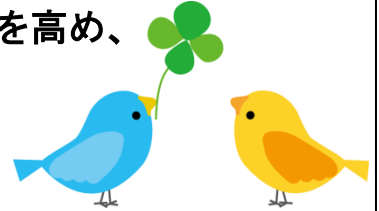
一人一人の子どもがよりよい学校生活を送るために

～特別支援教育の立場から～

係：鬼塚小学校特別支援教育コーディネーター

1. 特別支援教育とは

児童一人ひとりの教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、または克服するための指導及び支援を行うもの



2. 本校の特別支援教育について

(1) 特別支援教育の目標

障害のある子どもをはじめ、支援や配慮を必要とする子どもへの理解を深めることを通してより良い子どもの人間関係を築き、共に助け合い支え合っていく子どもの育成に努める。



つまり……

努力だけでは解決できない大きな「困り感」を持つ児童の特性を理解し、その子に合った方法を考え、生活、学習の力をのばす指導・支援（サポート）に努めています。

(2) 特別支援教育の実際

- ・ **特別支援学級(さくら学級)** ※R5年度現在
- ① 知的障害1クラス ② 自閉症・情緒障害3クラス ③ 病弱1クラス 計 5クラス
- ・ **生活支援員のサポート** 児童の生活面のサポート 現在4名

(3) 必要な支援につなげるために

特別支援コーディネーターを中心として、学校生活の中での児童の様子を把握し、適切な支援につなげるための相談活動や検査、必要に応じてスクールカウンセラーや専門の医療機関と保護者を繋ぐ活動を行っています。



- ・ **通級指導教室**
 - まなびの教室(外町小・西唐津小・鏡山小) } 通常学級に籍を置きながら、週1回(80分)程度通級指導教室に通って指導を受ける。※保護者送迎
 - ・ ことばの教室(西唐津小)
 - ・ **スクールカウンセラー(教育相談)** 月1回程度来校 個別相談

3. 生き生きとした学校生活を送るために

(1) お子さんの様子で気になられることは、ありませんか。

集中力がなく じっとしてられない。

悪気なくストレートな言い方をしてしまい、相手に不快感をさせてしまう。場の空気が読めない。

話を聞かず、一方的に自分の言いたいことばかり話してしまう。

絵や文字をかくことが苦手。手先が不器用。

人前で話すのは苦手。

かっとなりやすい。

運動やダンスが苦手。

食べ物の好き嫌が多い。

ルールの理解が難しい。守れない。

気持ちの切り替えが難しい。

特定のものへの こだわりが強い。

人が多い所や初めての場所を嫌がる。

などなど……

きっと誰にも1つか2つは、当てはまることがあるのではないのでしょうか。

(2) 一人ひとりの特性を理解する

苦手なことも その子の個性ととらえて、望ましい行動につながるように 配慮や支援を行うことが大切です。ほんのちょっとした配慮で子どもは変わっていきます。

- できたことを褒める／できないことを叱らない
- 言葉だけでなく 見てわかる情報を一緒に提示する
- 説明や指示は、順を追って具体的に
- 安心できる環境を整える（会話・スキンシップ）
- 善悪やルールをしっかり教える
- みんなで温かく見守る（育てる）



学校には たくさん子どもたちがいて一人ひとり特性が違います。その特性を個性と捉えて、お互いを理解し、温かい目がかかわることのできる集団になれば、学校はみんなにとって楽しい場所になります。我が子だけでなく、みんなで鬼塚小の子どもたちを支えていくという思いで、ご理解ご協力をお願いします。

(3) 相談する ～適切な教育につなげるために～

さまざまな取り組みをしても 家庭や本人の努力だけでは解決できない場合があります。そのような場合は、ご家庭だけで悩まずに、まずは学校へご相談ください。家庭、医療、保健、福祉等の関係機関と連携して、その子の特性に合わせた支援を考えていきます。

「困っている」のは、子どもたちです。子どもたちのよりよい成長のため、家庭と学校で協力・連携していきましょう。

《連絡・お問い合わせ先》

唐津市立鬼塚小学校 78-0013

係: 特別支援教育コーディネーター 藤浦洋子